

教科	家庭科	学年	2年	標準授業時間数	35時間(隔週2時間)
----	-----	----	----	---------	-------------

目 標	教科目標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活や技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要な知識や技術を活用し、実践的活動や体験的活動の充実を目指す。 ○自分の食生活に関心を持ち、自らの生活を改善したり工夫したりするのに必要な技術を適切に活用できる力を育てる。 ○日常着の選択、室内環境の整え方について、より具体的な教材・教具を用い、実生活の中で生かそうとする意欲を育てる。

評 価	観 点	生活や技術への関心・意欲・態度	25%	学習内容に関心を持ち、積極的に取り組む。提出物は完成させ、期限を守って提出する。
		生活を創意工夫する能力	25%	自分の家庭生活に関する課題を見つけ、その解決を目指し、自分なりに工夫・創造する。
		生活の技能	25%	生活に必要な基礎的な技術を身につけている。
		生活や技術についての知識・理解	25%	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術との関わりについて理解する。
	材 料	授業態度、学習ノート、準備、片づけ、実習、定期テスト		
方 法	各評価材料を観点別に基準に従って評価する。			

学 習 方 法	使用教材	教科書「新しい技術・家庭科 家庭分野」(東京書籍) 学習ノート	
	学習形態	教室では一斉授業で進める。 調理室、被服室の場合、班(グループ)で行う。	
	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容をよく聞き作業を進める。 ・授業の内容はノートにまとめる。 ・意欲を持って最後までやる。 ・調理実習中は、安全面、衛生面に気をつけ、協力して行う。 ・製作は丁寧に、能率よく進め、物を大切に扱う。 ・提出物の提出期限は必ず守る。 	
め 方	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やワークシートを見直す。 ・授業内容を教科書を参考に、自分にかかりやすいように整理する。 ・習ったことや学んだことを家庭生活の中で生かしていく。 	

年間授業計画

月	学 習 の 内 容	時数	学 習 の ポ イ ン ト
4	A 生活の自立と食生活 食品の選択と日常食の調理の基礎 1、食品の選び方	3	※用途に応じて適切に食品の選択ができるようにする。 ・生鮮食品、加工食品の品質の見分け方 ・食品の表示やマークの意味 ※食品の衛生的な扱い方や基本的な調理操作を習得させる。
5	2、簡単な日常食の調理	3	
6	調理実習	3	
7		3	
9	衣服の選択と手入れ 1、日常着の適切な選択	3	※既製服の適切な選択の仕方を理解させる。 ・手持ちの衣服との組み合わせ ・組成表示 ・サイズ表示 ・価格 ・リサイクル
	2、衣服の収納と再利用		※衣服の収納と保管方法を知り、実践につなげることができるようにする。
10	室内環境の整備と住まい方	4	※快適に住まうために室内環境を整える必要性を考え、実践させる。
11	私たちのより豊かな食生活	4	
12	調理実習	3	※調理の手順と時間を考えて計画をたて安全に実習させる。 ※適切にごみを処理できるようにする。
1		3	
2		3	※日常生活における実践につなげることができるようにする。
3		3	
合 計 時 数		35	